

当せん者エピソード

## 宝くじ こぼれ話

### やっぱりすごいぞ!ゴールド・パワー「砂金」と「金色の鳥」の夢で大当たり

「こんな夢を見たら、宝くじに当たる」といわれる夢占いの「吉夢」の1つに「ゴールドの夢」がある。これを裏付けるような当せん者がある。

**砂金** 栃木県の会社員Mさん(35)は5年来の宝くじファンでサマージャンボ宝くじ(第645回全国自治宝くじ)も30枚購入。そして、いつもの保管場所であるタンスの中に保管していたが、抽せん日を前に、金色に輝く砂金のウォータースライダーの上を、上向きに寝そべったまま、自分の体がすべりおりて行く夢

を見たような。「もしや」と思っていたら、抽せんの結果、1枚が3等100万円に当たった。

**金色の鳥** 千葉県に住む主婦S子さん(28)は、宝くじを買い始めてまだ1年ほどの新人ファン。当たったら、家を買いたい、子供の教育費にしたい、親孝行もしたい…と夢見て年末ジャンボ宝くじ(第651回全国自治宝くじ)を購入。いつもはバラ10枚だが、今回は「わけ」があってバラ30枚を購入した。Sさんが語る「わけ」とは「購入日の前日に金色の鳥が3羽、夢に出てきたんです」。抽せんの結果は1枚がなんと1等の前賞1億円に大当たり。宝くじに寄せていたSさんの夢は、これでほとんど叶ったのでは…。スゴイ!



ご当地クーちゃん  
さるぼぼクーちゃん

当せん者エピソード

## 宝くじ こぼれ話

### 不運・逆境もまたチャンスなり 幸運の女神に同情され大当たり

「ひどすぎる!」「くやしい」といった「怒りのはげ口」を宝くじに求めたら「当たった」という人がある。どうやら、幸運の女神が「かわいそう」と同情してくれたようだ。

**当たり過ぎ** 岡山県に住む主婦N子さん(51)は知人の誕生日会に出かけ、そこで食べた魚の「タイ」に食あたり。その直後に高速道路で交通事故にあって車を損傷。「ひどすぎる!」と怒りながら、2000万サマー(第646回全国自治宝くじ)を50枚購入。抽せん

日を待っていたら、前日に商店街の福引で特賞の旅行券に当たり、一夜明けての宝くじの抽せんでは1等の2,000万円に当せん。すっかり機嫌が直ったN子さんだが「私って、当たり過ぎですよ」と逆に心配顔だった。

**生まれた!** 京都府の会社員Aさん(51)は10年来の宝くじファンだが、オクタムジャンボ宝くじ(第649回全国自治宝くじ)を購入する1カ月前に、愛用の10万円以上もする自転車を盗まれてしまった。「くやしい!」。そんな思いを宝くじにぶつけて10枚を購入。結果は1枚が3等の100万円に当せん。これで、Aさんの怒りはどこへやら。メデタシ、メデタシ。



ご当地クーちゃん  
二十世紀梨クーちゃん